

NO! リニア

No. 168

2023年12月15日

JR東海労働組合

JR東海労HP
にアクセス↓



開業2027年以降！ とうとう無理を認めたか!?

本日、新聞各社は「リニア開業27年以降 事実上延期『時期見通せず』」などというタイトルで報じました。

報道によると、会社は品川～名古屋間の完工時期を「27年以降」に変更すると決め、国土交通大臣に認可申請しました。記者会見で沢田常務執行役員は「現時点では開業時期は見通せない」とする一方、「27年開業を断念したのではなく、困難ということ」と、矛盾したことを言っています。断念をしなければ国交相に認可申請をする必要はありません。

また、27年開業困難の理由を静岡工区の未着工とし、静岡県悪者論を展開していましたが、第一首都圏トンネルにおける掘削中断について、「シールドマシンのトラブルや、もともと難工事と思っていた名古屋駅、品川駅にもきつい部分がある」としました。もはや、工事の遅れを静岡工区のせい＝静岡県の責任にすることは無理難題といえます。

環境影響評価（アセスメント）における手抜きといえる調査、建設ありきの杜撰な計画のツケが回ってきたといえます。JR東海労はこの間、会社に対して経営状況、自然・環境、沿線住民の生活権など、あらゆる面から指摘を繰り返し、建設中止を訴えてきました。ここで開業を断念（建設を中止）しなければ、大変な事態になります。しわ寄せが来るのは今の若い社員です。会社は直ちにリニア建設を中止すべきです。